

室蘭人

互いの国の文化を通した心の交流を

「お互いの国の理解を深めようと、交流を通して、室蘭工業大学で学ぶ留学生のお世話をしている市民団体、室蘭国際交流センター。今年で25年目を迎え、現在20人の会員が活動している。宇佐美さんは2年目から会に参加。翌年から現在まで会長を務めている。

会の活動は、一般市民や近隣市町に在住する外国人も参加し、軽食などで交流するパーティー「エクステンジウムラン」を中心に、大学を卒業し帰国する学生を和服で送る「さよなら着物パーティー」ほか、日本文化の紹介や、周辺地域のイベントへの参加など、日本の生活を楽しくしてもらっている。

最近では家族連れの留学生も多く、会としての活動以外にも、会員と留学生が家族ぐるみで交流を深めている。

室蘭国際交流センター 会長

宇佐美 祥子 さん



昨年11月に行われたエクステンジウムラン「サンドイッチパーティー」

「口ごころから、良くお付き合いをしている。口ごころ、何をしようか、おのずと分かっています。そのような心の交流が大切」と同会の皆さんは、普段の交流を大切に、心細い海外での生活をサポートしている。

会の活動がマンネリ化しないよう頭を悩ませることもあるが「交流することで、私たちが外国の文化に触れることができるし、また活動を通して相手が喜んでくれるのがうれしい」と、活動が長く続いてきた秘訣を振り返る宇佐美さん。

会ではユニセフなどへの募金活動も行っており、今後は、卒業生の母国の学校などに行つてボランティアもしたいと、宇佐美さんの夢は果てない。

「室蘭を思い出し、本人や、その子ども、孫が、何かの縁でまた元気に室蘭を訪れてくれるとうれしい」。巣立っていった留学生たちのことを話すその顔には、子を思う親のような優しさがあふれている。

発行日/平成21年2月1日 通巻/935号
印刷/日光・室蘭印刷経営共同企業体

シリーズ地デジ⑤

地デジ詐欺にご用心!

アンテナ交換などを口実とした詐欺が発生しています。

手口 「テレビ局職員」や「地上デジタルテレビ受信対策員」を名乗る人物が訪問し、受信工事やテレビ調整代金の支払いを求めます。

手口 テレビ局などが、このような支払いを求めることはありません。

手口 「地上デジタル放送切り替え助成金が支給されるので、手数料を支払ってください」などの文書が、総務省やテレビ局の名前で郵送されてくる。

手口 このような助成金は存在しません。手数料の支払いを求めません。

地デジ詐欺に関する問い合わせ先
総務省北海道総合通信局情報通信部放送課
☎011-709-2311 (内線4668)

事業主の皆さんへ

「くらしの便利帳」に掲載する広告を募集

市民生活に役立つ行政情報を掲載した冊子「くらしの便利帳」を5月に発行する予定です。官民協働事業として取り組み、協働事業者が集める広告料収入で発行します。

冊子は、各種手続きや施設案内、医療機関のほか、観光名所など、生活に密着した内容を盛り込んだカラーの保存版総合情報紙で、市内の全世帯に無料配布します。

この「くらしの便利帳」に掲載する広告を募るため、協働事業者の(株)サイネックスが市内の事業所を訪問します。広告掲載を希望する事業主の皆さんは、ぜひこの機会にお申し込みください。

広告募集期間 2月～3月
※室蘭市広報紙広告掲載要綱に基づき、業種および広告内容によっては掲載できない場合があります。

《広告の申し込みと問い合わせ先》
(株)サイネックス ☎011-242-8060

《くらしの便利帳の問い合わせ先》
市民対話課 ☎011-2193

介護保険料第9期、国民健康保険料第9期、後期高齢者医療保険料第9期は、3月2日までに納めましょう

